

都市政策論

担当者 明石 芳彦

開講時期 前期 単 位 2

●講義の概要

都市の現状とあり方を経済学の視点から多面的に分析・検討するための理論的基礎概念や分析枠組を概説するとともに、特定の関心や着眼点から政策提言を行うために必要となる理論的・実証的分析手法や先行研究の知見を概説する。

●講義の到達目標

都市に関わるさまざまな問題点を適切に把握し、それらを経済学の視点から系統的に分析して、的確な説明や政策的見解を述べるができるようになる。

●講義計画

- 第1回 都市政策の対象と射程
- 第2回 都市の機能と構造
- 第3回 都市の活力・賑わいと寂れ
- 第4回 都市の規模と持続可能性
- 第5回 都市と産業と労働力
- 第6回 都市・地域経済と資金循環
- 第7回 社会的資本
- 第8回 都市の社会問題と社会サービス
- 第9回 大都市の経済と地方財政
- 第10回 都市（自治体）のサービス提供と財政運営
- 第11回 都市が抱えるリスク
- 第12回 都市政策効果の捉え方
- 第13回 「生活の質」を考える
- 第14回 都市の発展と未来、居住者の幸福
- 第15回 都市の発展と都市政策

●成績評価基準と方法

平常点50%、期末レポート50%

評価方法として、平常点とは、講義内容に対する質問や意見を出すこと。期末レポート（小論文）では、自分が検討するテーマや検討対象とする課題の明示、論理的な説明と検討・分析を通じて明らかにした事柄（結論）を提示できていること。

成績評価基準は、講義内容に関わる専門的知識を的確に把握できていること（講義内容と意見が異なる点はまったく問題でない）、関連する論点の提示や説明とそれに対する検討のプロセスが読み取れ、分析を通じて導いた結論または自分の見解が提示されていること。

●テキスト又は参考文献

使用しない。必要に応じて、参考文献を指示し、資料を配布する。

●受講上の留意点

研究課題を見つけるための問題意識をもつとともに、そこから1つのテーマを選択する研究上の着眼点を修得すること。